

## 各委員からの提案に対する市の事業の現状

### 《目 次》

1、子育て	P 1
2、健康	P 3
3、地域経済	P 4
4、道の駅	P 5
5、まちづくり	P 5
6、協働	P 6
7、若者支援	P 6

## 子育て

### 《提案事項：保育園の充実》

#### 【提案に対する市の施策の現状】

##### ◇保育園の増設について

現在、市川市保育計画（平成 22～26 年度）に基づき、整備を進めている。計画の中では、最終的に 14 園の新設を見込んでいる。なお、新園については、民設民営での整備を基本としている。

##### ◇企業での事業所内保育の促進

平成 27 年度からの開始が予定される子ども・子育て支援新制度において、事業所内保育が市町村の認可事業となり給付（財政支援）の対象となる。市町村の認可を受ける事業所内保育の場合には、地域の子どもの定員も設けることが条件である。認可基準については、平成 26 年 6 月議会で「市川市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例」として議決を得て制定したところである。

### 《提案事項：子育てサービスの充実》

#### 【提案に対する市の施策の現状】

##### ◇子育てサービスの充実について

###### 1. 認可保育園の利用

: 公設公営 21 箇所、公設民営 8 箇所、私立保育園 37 箇所、合計 66 箇所（保育料は所得に応じて）

###### 2. 市川市ファミリーまま制度

: 契約家庭保育員 17 名

###### 3. 簡易保育園保育の利用と一時保育の利用

: 35 箇所（簡易保育園補助金あり）

###### 4. 一時預かり・特定保育

: 公設公営 8 箇所、私立保育園 26 箇所（1 時間 200 円又は 300 円、食事代別途徴収）

###### 5. いちかわファミリーサポートセンター

：都合で園送迎ができない場合、放課後保育クラブへの送迎と時間後、買い物やリフレッシュ、冠婚葬祭の預かり（1時間 500円）

6. 病後児保育

：病気回復期の子ども預かり（一日 3,000円）

7. すこやか応援隊

：子育て相談、親子の交流の場、遊び場の提供、子育てサークル情報提供

8. 地域子育て支援センター

：子育て相談、子育て情報の提供

9. 幼稚園

：預かり保育

10. 保育園延長保育

11. こどもショートステイ（宿泊、夜間休日の預かり）

12. 市川市子育て応援企業等の認定でこれから子育てをする人、子育てをしている世代に優しい企業の拡大

13. 放課後保育クラブ（小学生の放課後の保育）

◇一時保育の充実について

《一時預かり事業の現状》

○一時預かり事業

一時的に保育が困難な場合（月15日限度）

- ・職業訓練・就労・就学・就労面接（月64時間未満の就労等）
- ・緊急、一時的な場合（出産、事故、冠婚葬祭等）
- ・裁判員に選ばれた場合
- ・その他（上記以外で、育児における心理的、肉体的解消）

○リフレッシュ

- ・育児の合間に自由な時間を持ちたい

《特定保育事業の現状》

- 認可保育園の入園基準に満たない概ね月64時間以上の就労で、家庭での保育が困難な場合

◎実施園（平成26年4月1日現在）

公立保育園 8園

私立保育園 32園

指定管理保育園 1園

計32園 対前年度比 3園の増

## 健康

### 《提案事項：健康づくりのための施策の促進》

#### 【提案に対する市の施策の現状】

##### ◇市民の生涯をとおしたライフステージに対する施策について

保健センター及び南行徳保健センターでは、妊婦から高齢者まで市民が生涯心身共に健康で過ごすことができるよう、保健・栄養・歯科分野で様々な事業を実施している。内容としては、母子向けに母親学級、両親学級、パパママクッキング、妊婦歯科健診、あかちゃん訪問、幼児の健診等。また、成人向けにウォーキング講座、生活習慣改善講座、快適睡眠講座、こころの健康市民講座、女性・男性の健康講座また、歯科相談や栄養講座など、健康寿命の延伸のためにライフステージにおいて必要と考えられる事業を保健センター及び南行徳保健センター等を会場として定期的に開催している。 ※別紙参照。

##### ◇65歳以上を対象とした事業について

65歳以上を対象とした介護予防事業として、体操や筋力トレーニングなどを行う「いきいき健康教室」を実施しており、高齢者の健康維持や医療費抑制の事業効果があると考えている。

《平成25年度実績：教室102教室、参加延74,830人》

## 地域経済

### 《提案事項：地元の商工振興について》

#### 【提案に対する市の施策の現状】

##### ○市川市商店街共同事業補助金交付事業

商店会が共同で事業を実施する場合に補助金を交付し、活発な商店街活動を誘発することで、地域のコミュニティの核となる商店会として活性化を図る。

##### ○Ichikawa 商人塾 2014 事業

会員の高齢化、廃業等により衰退する商店会の現状に対応するため、若手商業者および若手経営者の育成を目的とした魅力ある店舗づくりの特別講座を実施する。経営手腕の向上と意識改革を図り、地域活性化の牽引となるような商業者・経営者を創出する。

### 《提案事項：本市への観光客の誘客・誘導について》

#### 【提案に対する市の施策の現状】

##### ○いちかわ観光・物産案内所

J R 市川駅北口に「いちかわ観光・物産案内所」を設置し、本市の特色である「文化的・歴史的資産」や「伝統行事」「特産物」などを PR し、観光客の集客と地域の活性化を図っている。

「いちかわ観光・物産案内所」では、市川市を訪れた観光客に対して、市内の観光スポットの案内や地場産の特産物、伝統的工芸品の紹介を行っている。

##### ○市川市観光協会（事務局：観光交流推進課）

市川市観光協会は市川市と連携し、WEB サイトやガイドブック等で観光資源並びに物産を市内外に広く紹介し、観光客の誘致や観光交流事業への支援を行っている。

## 道の駅

### 《提案事項：新設される道の駅の機能について》

#### 【提案に対する市の施策の現状】

＜「道の駅」に関する本市の取り組みの経緯＞

- ◇平成 25 年 3 月：市川市「道の駅」基本方針策定
  - ・「休憩機能」「情報発信機能」「地域連携機能」「防災機能」を併せ持った都市型の「道の駅」とすることなど、大枠となるコンセプトをまとめたもの。
- ◇平成 25 年 4 月：街づくり部街づくり推進課に外環道路推進・道の駅担当室を設置。
- ◇平成 25 年 5 月：市川市「道の駅」基本計画策定
  - ・整備計画の基礎資料としてまとめたもの。
- ◇平成 25 年 5 月：市長による記者発表
  - ・「道の駅」を整備すること、国分地区に決定したこと等を発表。
- ◇平成 25 年 6 月：「広報いちかわ」に「道の駅」整備に関する記事を掲載。
- ◇平成 25 年 8 月～9 月：事業者から、「道の駅」の整備に関するアイデアを募集。
- ◇平成 26 年 7 月：「道の駅」の施設に関する意見募集（パブリックコメント）を開始。

## まちづくり

### 《提案事項：空き家の利活用について》

#### 【提案に対する市の施策の現状】

- ◇平成 24 年 6 月に「市川市空き家等の適正な管理に関する条例」を制定、平成 25 年 1 月 1 日より施行した。
- ◇平成 25 年、街づくり部に住環境整備課を設置し、空き家を含め、市内の住環境整備に関する施策を担う専任部署としてスタートした。
- ◇平成 25 年度より、千葉商科大学との包括協定に基づき、空き家の活用に関する事業について、同大学と連携して協議を行っている。
- ◇平成 25 年度より、一般社団法人「移住・住みかえ支援機構」が運営する「マイホ

ーム借り上げ制度」の活用を促進するため、Web サイトで周知等を行い、住宅が空き家となることを未然に防ぐための側面支援を行っている。

※「マイホーム借り上げ制度」・・・50 歳以上の方が所有する住宅を「移住・住みかえ支援機構」が、最長、終身で借り上げ、子育て世帯等に転貸する制度。

## 協働

《提案事項：年代や使い方を限定せず、誰でも立ち寄れる居場所作り》

### 【提案に対する市の施策の現状】

◇現在、都営新宿線本八幡駅前、アクス本八幡ビル2階にボランティアNPO活動センターを開設し、市民活動団体の関係者の方や地域住民の方や学生の方など多くの方が、打合せや個人勉強の場所、会報や会員募集のちらし作りのために印刷機を利用するなどの目的で、ボランティアNPO活動センターを訪れている。

◇新庁舎建設計画では、市民が自由に使えるスペースとして、新たに市民協働のスペースを設ける施設計画を検討しており、新庁舎が完成後には、誰もが一人で気軽に立ち寄れる場所が確保されるものとする。

## 若者支援

《提案事項：若年層の社会参画の促進について》

### 【提案に対する市の施策の現状】

◇市民から、広く意見を取り入れる方法としては、パブリックコメント、市民政策提案制度、市民の意見箱、e-モニター制度などいくつかのチャンネルがあるが、「若年層に特化した方法」は今のところない、というのが現状である。

# 建 議

～未来の市川市に向けた提言～

(案)

平成 26 年 月 日  
市川市市政戦略会議



はじめに

平成 26 年 9 月

市川市市政戦略会議  
会 長 栗 林 隆

## 目 次

I. 未来の市川市に向けた提言・・・・・・・・・・・・・・・・	4
1. 今、市川市に求められていること	
2. 「成長と持続」を支える2つの提言	
・提言①：魅力あるまちの創造	
・提言②：これからの行財政改革のあり方	
3. 行政運営全般を貫く3つの視点	
II. 提言①「魅力あるまちの創造」について・・・・・・・・	
1. 積極的なシティセールス	
2. 快適で安心な住生活の整備	
3. 住民参画による活気あるまちづくり	
III. 提言②「これからの行財政改革のあり方」について・・・	
1. 必要性の判断：行政の「しごと」の総点検	
2. 主体性の検討：公民の役割分担の見直し	
3. 効率性の追求：業務効率の更なる追求	
IV. 「成長と持続」を実現するために・・・・・・・・・・・・・・・・	
1. 「オール市川市」の意識改革	
2. 各種計画等の確実な推進	
3. _____	
V. 市川市市政戦略会議委員名簿・・・・・・・・・・・・・・・・	29
VI. 会議の開催状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	30

## Ⅰ. 未来の市川市に向けた提言

### 1. 今、市川市に求められていること

《本項の概要》

※現在の社会全般の状況、そして本市が置かれている現状等を踏まえ、安定的な行政運営と更なる市政の発展に向けて、今、本市が何をすべきか、といった内容について記載する。

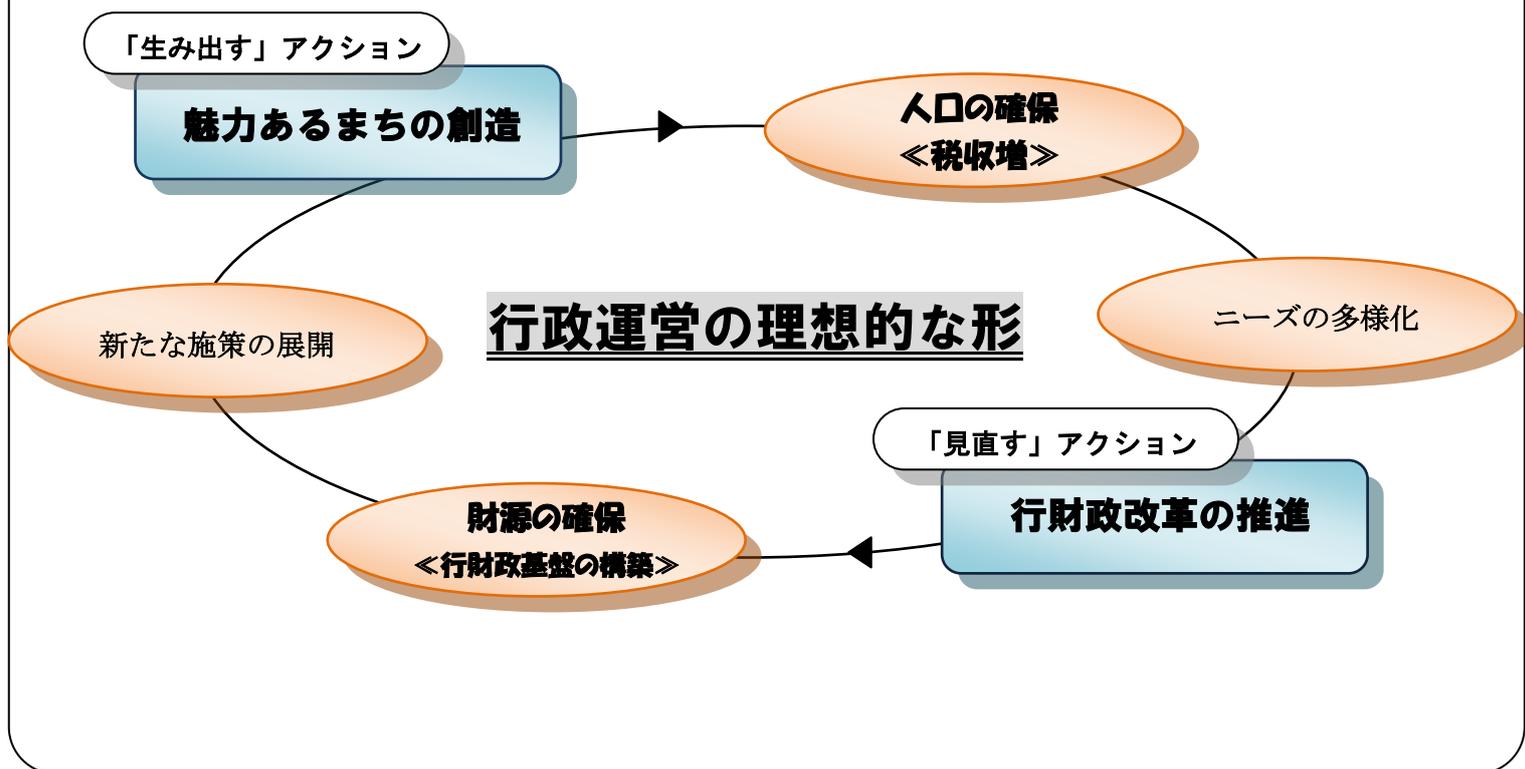
### 2. 「成長と持続」を支える2つの提言

《本項の概要》

※建議全体に関する概要と、主たる構成要素である2つの提言、「魅力あるまちの創造」・「これからの行財政改革のあり方」の概要について説明する。  
なお、次ページ以降（3ページ分）にあるとおり、それぞれイメージ図を使用し、できるだけ簡潔に内容を説明し、詳細については後述する「Ⅱ」や「Ⅲ」に委ねるものとする。

## 本提言全体に関する概要 イメージ図

### 「魅力あるまちの創造」と「行財政改革」による相乗効果

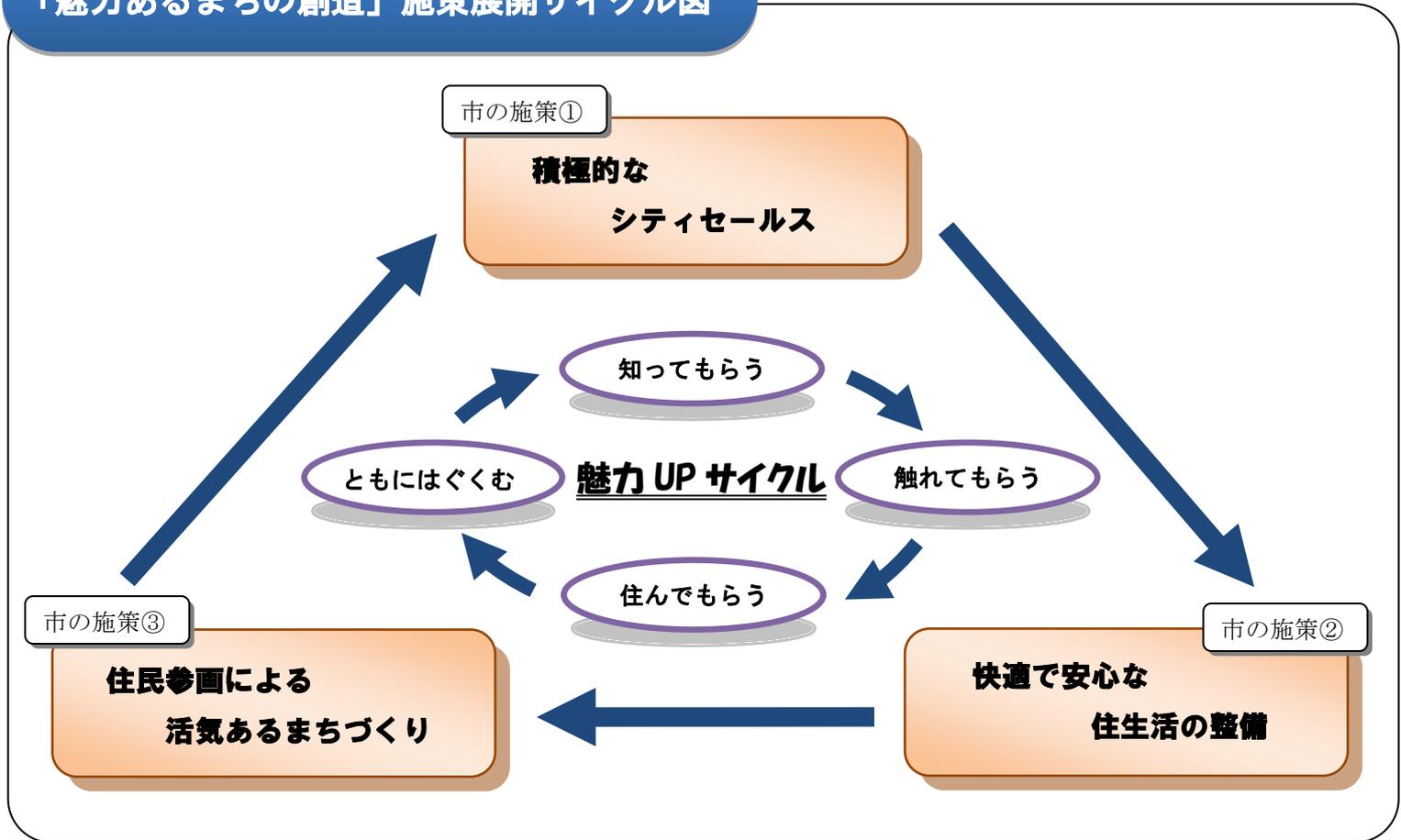


#### 《本イメージ図の概要》

※本建議書全体の構成を表すイメージ図。厳しい財政状況や少子高齢化問題等に対応するため、「生み出す」アクションとして「魅力あるまちの創造」、そして「見直す」アクションとして「行財政改革の推進」の2本を柱として打ち出し、それぞれが図のごとく作用し合って相乗効果を発揮することで、より効果的に諸問題に対応するという趣旨の図。

## 提言①「魅力あるまちの創造」に関するイメージ図

### 「魅力あるまちの創造」施策展開サイクル図



#### 《本イメージ図の概要》

※「まち」の資源を積極的に発信し、人々に買い物や観光等を目的として来訪してもらい、「まち」に触れ、リピートあるいは定住してもらい、共に活気ある「まち」をはぐくんで魅力を高め、それが新たな資源となって更なるニーズを開拓していく、といった一連の「魅力UPサイクル」を表すイメージ図。こうした魅力UPサイクルを下支えし、具現化するものとして、市の施策3点を配置した。 (以下概要)

#### ◇市の施策①：積極的なシティセールス

《例》 文化・伝統・自然などの積極広報、外環道路竣工に伴うPR戦略 等

#### ◇市の施策②：快適で安心な住生活の整備

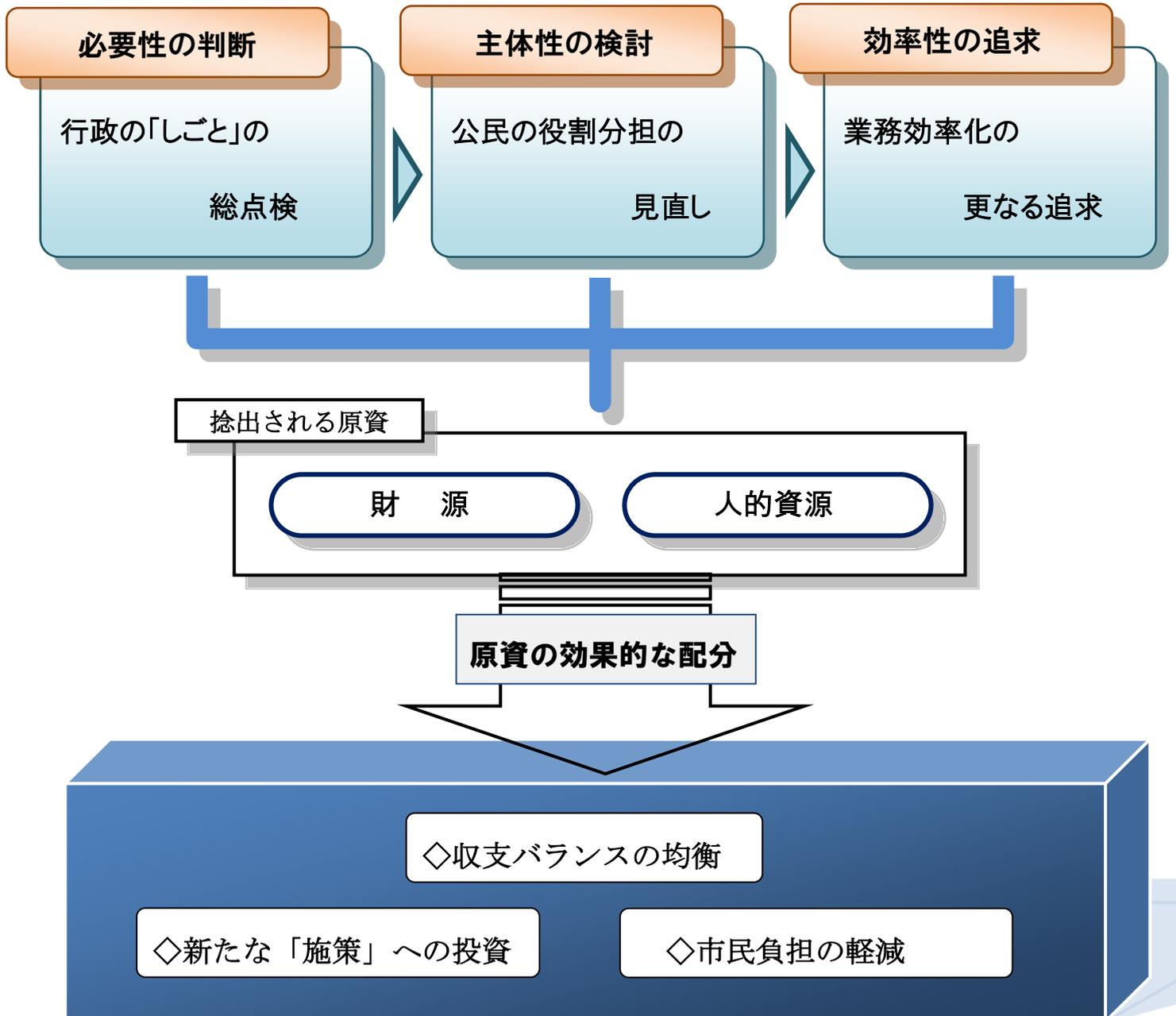
《例》 子育て支援、就労支援、健康・福祉支援、防災対策 等

#### ◇市の施策③：住民参画による活気あるまちづくり

《例》 文化・伝統の振興、国際交流、安全・安心な街づくり 等

## 提言②「これからの行財政改革のあり方」に関するイメージ図

### 強固な行財政基盤の構築に向けて



#### 《本イメージ図の概要》

※本市の行財政改革に対し、市政戦略会議としてこれまでも様々な提言を行ってきたが、その総括的な意味合いも込めて、市川市におけるこれからの行財政改革のあり方、方向性等について図示したものの。

### 3. 行政運営全般を貫く3つの視点

《本項の概要》

※2つの提言を踏まえ、今後、本市が行政運営を行うにあたり、重要視すべき3つの視点、「協働」「若者参画」「ICTの積極活用」について記載する。

## II. 「魅力あるまちの創造」に関する提言

1. 積極的なシティセールス
2. 快適で安心な住生活の整備
3. 住民参画による活気あるまちづくり

《本項の概要》

※上記3点それぞれについて、これまでの審議や募集した意見等で提案された内容を記載する。

### Ⅲ. 「これからの行財政改革のあり方」に関する提言

1. 必要性の判断：行政の「しごと」の総点検
2. 主体性の検討：公民の役割分担の見直し
3. 効率性の追求：業務効率の更なる追求

《本項の概要》

※上記3点それぞれについて、これまでの審議や募集した意見等で提案された内容を記載する。

#### IV. 「成長と持続」を実現するために

1. 「オール市川市」の意識改革

2. 各種計画等の確実な推進

3. \_\_\_\_\_

《本項の概要》

※上記3点それぞれについて、これまでの審議や募集した意見等で提案された内容を記載する。

## VI. 市川市市政戦略会議委員名簿

氏名	所属・役職・職業	区分・分野	
栗林 隆	千葉商科大学商経学部 教授	学識経験者	財 政
田口 安克	公認会計士・税理士	学識経験者	財務・会計
大矢野 潤	千葉商科大学政策情報学部 教授	学識経験者	政策・情報処理
杉浦 功一	和洋女子大学人文学群 心理・社会学類 准教授	学識経験者	政治学 ・国際関係論
平田 直	株式会社ちばぎん総合研究所 専務取締役	学識経験者	金融経済
新田 英理子	特定非営利活動法人 日本NPOセンター統括部門長	学識経験者	NPO
青山 真士	市川商工会議所会員	関係団体推薦	地域経済
立川 和子	市川市民生委員児童委員協議会 副会長	関係団体推薦	福 祉
田平 和精	市川商工会議所 副会頭	関係団体推薦	地域経済
ハリス 貴子	市川市PTA連絡協議会 事務局長	関係団体推薦	教 育
吉原 稔貴	市川市国際交流協会 青年部会長	関係団体推薦	国際交流
若菜 泰裕	連合千葉 総武地域協議会 市川浦安地区連絡会 事務局長	関係団体推薦	労 働
木村 直人		公募市民	
幸前 文子		公募市民	
古瀬 敏幸		公募市民	

## VII. 会議の開催状況

開催日	時間	内容	出席者数
平成 26 年 4 月 25 日(金)	16:00～18:00	答申 建議事項の検討	14 名
平成 26 年 5 月 14 日(水)	16:00～18:00	建議事項の検討	15 名
平成 26 年 6 月 11 日(水)	16:00～18:00	建議事項の検討	13 名
平成 26 年 7 月 11 日(金)	16:00～18:00	建議事項の検討 建議案の検討	名
平成 26 年 9 月 日		建議	